

林 野 庁 北 海 道 森 林 管 理 局 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター _{平成24年度} 年 報









この1年を振り返って

平成24年度の当ふれあいセンターの活動については、地球温暖化の防止や生物多様性の保全を図ることを大きな目標として、国有林野を活用して行う自然再生活動、森林環境教育の支援に取組んで来ました。また、各種広報活動を通じて、森林の保全や木材の重要性について情報提供を行いました。特にホームページでは、イベントの実施や野生生物等の調査結果を公表するなど、情報発信に力を入れた取組みを進めました。紙面ではございますが、関係者の皆様のご理解とご協力を賜りながら、滞りなく事業が実施できたことにつきまして、お礼を申し上げます。

平成25年度は、国有林野事業が一般会計化に移行する初年度となります。引続き、充実した内容のイベント等を企画・実施して参りますので、より多くの方々にご参加いただけるよう、よろしくお願いします。 (所 長 宮本 元宗)

目 次

この1年を振り返って

- 1 トピック(国有林におけるNPO団体等活動発表会 発表要旨)
- 2 この1年間の取組み 【取組みの時系列表-4頁】【自然再生·生物多様性の保全-5頁】 【森 林 環 境 教 育-7頁】【NP0等·その他の取組み-9頁】
- 3 活動区域及び所在地

1 トピック(国有林におけるNPO団体等活動発表会 発表要旨)

国有林におけるNPO団体等活動発表会

北海道森林管理局管内の4つのふれあいセンターでは、自然再生や森林環境教育について、NPO団体等と連携して取組んでいます。

これらNPO団体等が、ふれあいセンターと取組んでいる活動を発表するとともに、有識者による基調講演及び参加者等との意見交換が、平成24年12月8日に札幌市教育文化会館で開催されました。当ふれあいセンターと連携して、雷別地区の自然再生にボランティア団体として参加している雷別ドングリ倶楽部からは、発足からこれまでの取組みが発表されました。

雷別ドングリ倶楽部の歩み

1 雷別地区国有林の位置

雷別地区国有林は、釧路市から約30km離れた川上郡標茶町にあります。釧路湿原にある三大湖沼の「シラルトロ沼」、シラルトロ湖という人もいますが、ここの上流部に位置しており、牧草地が広がる地域に隣接した場所に、雷別ドングリ倶楽部の活動区域である雷別地区国有林があり、この中に森林再生事業地があります。シラルトロ沼には釧路川の他に、シラルトロエトロ川という大きな川が流込んでおり、その上流域に広がっているのが雷別地区国有林で、この上流に森林再生事業地の293林班があります。

緑の線の内側に降った雨は、釧路湿原に流込みますが、この右側の牧草地に降った雨は、厚岸町の方向へ流れて行きます。つまり、293林班を境にした分水嶺があるということになります。



▽ 雷別地区国有林の位置



▽ シラルトロ沼周辺と雷別地区国有林



▽ 森林再生事業地の様子

2 森林再生事業地の概要

以前、雷別地区国有林には、植林後70年を超えるトドマツの人工林が 広がっていましたが、平成12年の冬に強い乾燥にさらされ、多くのトド マツが枯れました。枯れたトドマツはやがて倒れて、跡地はササ原とな り、ここが森林再生事業地となっています。

釧路湿原の上流で、森林再生を行う目的は、

- ① 広葉樹の森林を取戻すこと
- ② 下流のシラルトロ沼や釧路湿原へ、森林からのきれいな水を供給すること

また、木がないことから、

③ 下流での渇水や洪水が想定されることから、これらを防ぐことです。

オレンジと白は、 立ち枯れが多く発生した区域で森林 再生事業地 赤線は 293林班

3 雷別ドングリ倶楽部の立上げ

雷別ドングリ倶楽部は、森林再生活動に多くの人がボランティアとして関わってもらうため、 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターが立上げたものです。平成19年に、継続的に参加できる 人を募集し、夏には11名でスタートして、現在(24年12月)は28名で活動しています。

4 雷別ドングリ倶楽部の活動(イメージ)

設立時に、雷別の自然再生の取組みにふさわしい活動について、意見交換を行いました。

雷別ドングリ倶楽部では、「森林からイメージするいろいろなことを、みんなでやってみよう。」ということで、広葉樹の植樹や森林の生育調査、樹木の種子採取、植生調査、エゾシカの食害調査、苗木育成、キノコ栽培などを活動イメージとして活動を始めましたが、残念ながら、これらについては、全部、実施できていないところです。

また、この時、19年度の活動として「雷別自然再生学習会」 への参加と併せて、ドングリ倶楽部の独自の活動として、苗 木育成や森林教室などに取組むこととしました。



▽ 活動のイメージ

参考までに「雷別自然再生学習会」とは、雷別の今の自然を知ってもらうことで、自然再生についての理解を深めることを目的とし参加者を公募して開かれ、現在は「森林アクティビティ講座」と名称を変更をして開催されています。

5 雷別ドングリ倶楽部の活動

実際にどのような活動を行っているか、を紹介します。

「マルチキャビティコンテナ」を使用して、苗木育成を行っています。これは、空中で育苗をするためのコンテナで、地面から10cm程度離して設置します。この状態で育苗すると、根が空気層に達した時に伸長を停止させるため、コンテナ内部で理想的な根を形成するそうです。

植樹も行っており、ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、イタヤカエデ、シラカンバの5種類を使用しています。

また、植樹したものをエゾシカの食害から守るため、ヘキサチューブという器具の設置も行っており、20人程度の参加者で50本を設置するのに、約1時間かかりました。

一方、雷別で拾ったドングリを雷別で育苗して、雷別で苗を植えることができないかと考え、育苗区域を設置することにも試みました。ここには、エゾシカからの被害を防止するため、防鹿柵も設営しました。ここで、発泡スチロールの箱に土を敷き、秋にドングリを播いて春を待ちましたが、冬の間に全てのドングリがネズミに食べられてしまい、残念な結果となってしまいました。

その他の活動として、間伐体験、炭焼き体験、冬芽の観察会など、いろいろ実施しています。これらの活動は、ドングリ 倶楽部で森林再生活動を実施するだけではなく、さまざまな 森林での活動を通して、より深く森林に親しむことを目的と して実施しているものです。

間伐体験については、雷別地区では適地がないことから、ここから車で約30分ほど離れているパイロットフォレストという、国有林で実施しています。パイロットフォレストには、間伐などの林業体験ができる区域として、指定されている場所があります。



▽ マルチキャピティコンテナ



▽ 土作りの様子



▽ 稚樹を移植している様子



▽ 植樹の様子



▽ ヘキサチューブを設置している様子



▽ 育苗区域で防鹿柵を設置している様子



▽ 育苗区域でドングリを播種している様子



▽ 間伐体験の様子



▽ 冬芽の観察会の様子



▽ 飾り炭の作成体験

また、ここには、ふれあいセンターが炭焼き用のドラム缶窯を設置しており、それを使用して 炭焼き体験を実施しています。通常、炭焼きは1日以上かかることから、もう少し簡単に作成で きる飾り炭の作成も実施しており、栗のイガの他に松毬なども炭にすることができます。

6 まとめ

最後にまとめとして、

- ① 雷別ドングリ倶楽部は、釧路湿原上流地域で、森林再生のためのボランティア団体として、活動しているグループです。特に、リーダー等を決めていませんが、各人が楽しく活動できる場となっています。
- ② 森林再生活動だけではなく、森林で実施する林業体験や森林環境教育等も実施しており、幅広い年齢層に受入れられる活動になっていると思います。
- ③ 今後は、さらに活動を活発化して、多方面にアピールしながら、釧路地域の森林再生活動や森林ボランティアの輪が広がるよう、活動を進めていきたいと考えています。

2 この1年間の取組み

【取組みの時系列表】

- 24年4月5日(木)くしろエコ・フェア2012実行委員会出席
 - 26日(木)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 再生普及行動計画WG出席
 - 28日~5月6日 釧路市こども遊学館 ゴールデンウィークイベント
 - 5月15日(火)標茶町立中茶安別小中学校で学校林活動を支援
 - 22日 (火) 弟子屈町立美留和小学校で学校林活動を支援(植樹)
 - 30日(水)第1回 雷別ドングリ倶楽部
 - 6月9日(土)くしろエコ・フェア2012
 - 24日(日)ボランティアグループによる植樹
 - 7月2~24日 7月期 野生生物生息調査
 - 4日(水)第2回 雷別ドングリ倶楽部
 - 22日(日)第1回 森林アクティビティ講座
 - 31日 (火) 教員初任者研修を支援
 - 8月5日(日)釧路市こども遊学館 夏休みイベント
 - 7日(火)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 環境教育WG出席
 - 21日 (火) 標茶町立中茶安別小中学校で学校林活動を支援
 - 9月2日(日)京都大学見学実習を支援
 - 9日(日)第2回 森林アクティビティ講座
 - 10日(月)京都大学見学実習を支援
 - 11日(火)釧路美容協会森林浴ツアーを支援
 - 12~30日 9月期 野生生物生息調査
 - 26~27日 北海道自然再生ブロック会議出席
 - 10月10日(水)第3回 雷別ドングリ倶楽部
 - 14日(日)女性限定森林ふれあい体験ツアー
 - 16日(火)標茶町立久著呂中央小中学校で森林教室を開催
 - 20日(土)道民森林づくりネットワークの集い
 - 25日(木)標茶町立中茶安別小中学校で学校林活動を支援
 - 30日 (火) 弟子屈町立美留和小学校で森林教室を開催
 - 11月1~2日 ふれあいセンター等事業検討会
 - 3日(土)サイエンス屋台村
 - 5日(月)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 再生普及行動計画WG出席
 - 10~11日 2012「木育・森づくりパネル展」
 - 14日 (水) 釧路湿原自然再生協議会 第12回 森林再生小委員会
 - 21日 (水) 第4回 雷別ドングリ倶楽部
 - 12月8日(土) 国有林におけるNPO団体等活動報告会
 - 4~18日 12月期 野生生物生息調査 (雷別地区)
 - 13日(木)釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会出席
 - 15日(土)白糠町ふるさと未来塾交流学習会
- 25年1月24~25日 北の国・森林づくり技術交流発表会
 - 30日(水)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 環境教育WG出席
 - 2月13日(水)第5回 雷別ドングリ倶楽部
 - 16日~ 釧路森林資源活用円卓会議パネル展(山花温泉リフレ展示コーナー)
 - 19日(火)釧路湿原自然再生協議会

【自然再生・生物多様性の保全】

① 4月26日(木)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 再生普及行動計画WG出席

② 5月30日(水)第1回 雷別ドングリ倶楽部

雷別地区自然再生事業地とパイロットフォレストで、会員18名の参加により活動しました。当日は、自然再生事業地で広葉樹の植樹、パイロットフォレストでは、23年11月に行った「炭焼き体験」の炭出し作業を実施しました。



③ 6月24日(日)ボランティアグループによる植樹

雷別地区自然再生事業地で、新宗連釧路協議会のボランティア27名による植樹を行いました。今回で3回目となる同会の植樹は、パッチ状に刈払い・植樹する手法で、広葉樹260本を植樹しました。

午後からは、林野庁の「森の巨人たち百選」にも選ばれているミズナラの巨木を見学し、1日の行程を終了しました。



④ 7月2~24日 7月期 野生生物生息調査

雷別地区自然再生事業地及びパイロットフォレストで、自動撮影カメラを使用した野生動物生息調査を実施しました。この調査は、当該地区に生息するほ乳類等をモニタリングし、自然環境の状態を把握することを目的として、毎年2回(7月と9月)行っています。

⑤ 7月4日(水)第2回 雷別ドングリ倶楽部

雷別地区自然再生事業地で、会員12名と当ふれあいセンターで、 就業体験実習(インターンシップ)をしている、京都府立大学生の参 加により活動しました。当日は、遊歩道の整備(草刈り)と自動撮影 カメラの設置を行いました。



⑥ 7月22日(日)第1回 森林アクティビティ講座

雷別地区自然再生事業地で、一般公募で集まった市民10名とボーイスカウト釧路第6団カブ隊の小学生11名の参加により、ハルニレの種子の採取とシードトラップの撤去、植物の勉強会と外来植物駆除、ミズナラの巨木を見学しました。



⑦ 8月7日(火)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 環境教育WG出席



⑧ 9月9日(日)第2回 森林アクティビティ講座

雷別地区自然再生事業地及びパイロットフォレストで、一般公募で集まった市民12名の参加により、ドングリを採取するシードトラップの設置とキノコの観察会を行いました。

キノコの観察会では、北海道キノコの会の奈良泰世氏を講師 に招き、キノコが枯木の腐食を促進して、森林の生態系の維持 ・保全に、大きく寄与していることなどの話がありました。

⑧ 9月12~30日 9月期 野生生物生息調査

⑨ 9月26~27日 北海道自然再生ブロック会議出席

釧路地方合同庁舎及び自然再生事業地で、道内で自然再生事業を実施している行政機関が参加 し、自然再生の取組み状況の報告と現地調査が行われました。当ふれあいセンターからも出席し、 雷別地区自然再生事業の取組み状況等を報告しました。

⑩ 10月10日(水)第3回 雷別ドングリ倶楽部





雷別地区自然再生事業地で、会員11名が参加し、広葉樹のタネの採取と直播き、パッチ状に刈払い・植樹する手法で広葉樹の植樹を行いました。

採取したイタヤのタネやドングリは、 初めての試みで、マルチキャビティコ ンテナへ直播きしました。

① 11月5日(月)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 再生普及行動計画WG出席

⑫ 11月14日(水)釧路湿原自然再生協議会 第12回 森林再生小委員会

釧路地方合同庁舎で、個人委員・団体委員及び関係行政機関が参加して、当ふれあいセンターが担当している「雷別地区自然再生事業」及び環境省の「達古武地域自然再生事業」について、 意見交換が行われました。

③ 11月21日(水)第4回 雷別ドングリ俱楽部

パイロットフォレストで14名の会員が参加して、飾り炭作りと環境教育用資材の収集·工作実習を行いました。

環境教育の工作実習では、以前、収集して乾燥させた松毬を使用し、クリスマスミニツリーや置物などを作成しました。





⑷ 12月4~18日 12月期 野生生物生息調査

雷別地区自然再生事業地では、12月期もモニタリングを実施し、 自然環境の状態を把握しています。

写真は、キタキツネがエサを咥えている様子です。



- ⑤ 12月13日(木)釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会出席
- ⑥ 12月13日(木)釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会出席
- ① 1月30日(水)釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 環境教育WG出席
- ⑱ 2月13日(水)第5回 雷別ドングリ俱楽部

当ふれあいセンター庁舎周辺及び釧路市春採公園で15名が参加して、冬芽の観察会を行いました。観察会終了後は、25年度の雷別ドングリ倶楽部活動予定について意見交換を行い、今年度の活動を終えました。

⑲ 2月19日(火)釧路湿原自然再生協議会

釧路市国際交流センターで、個人委員・団体委員及び関係行政機関が参加して、自然再生事業について、意見交換が行われました。当日は、協議会の収支報告や各小委員会からの開催状況報告等が行われ、当ふれあいセンターからは、雷別地区自然再生事業の実施状況について、報告を行いました。



【森林環境教育】

- ① 4月5日(木)くしろエコ・フェア2012実行委員会出席
- ② 4月28日~5月6日 釧路市こども遊学館 ゴールデンウィークイベント

釧路市こども遊学館で「木のおもちゃであそぼう!」が開催され、多くの木製遊具や木とふれあう工作教室が実施されました。 当ふれあいセンターでは、多くの子どもたちに木と触れ合ってもらうため「つみっき~で遊ぼう!」(積み木遊び)と「アイスの棒deクラフト」(木工工作)を実施しました。





③ 5月15日(火)標茶町立中茶安別小中学校で学校林活動を支援





徒30名が小学生班二つと中学生班に分かれて、実のなる木の冬囲いを外した後、各般に分かれて、ネイチャーゲームや春の学校林の観察会を実施しました。

④ 5月22日(火)弟子屈町立美留和小学校で学校林活動(植樹)を支援

⑤ 6月9日(土)くしろエコ・フェア2012

このエコ・フェアは、毎年、環境月間に定められている6月に開催され、今年も30を超える 団体が各種展示・実演・交流など様々な企画を用意し、市民との交流を深めました。

当ふれあいセンターでは、「つみっき~で遊り物でいるのものを実施しているう!」と「森林かものを実施している。と、「というでは関心を表している。」といる。



⑥ 7月31日(火)教員初任者研修を支援

北海道教育庁釧路教育局が実施する初任者研修が、パイロットフォレストで行われました。

この研修は「野外における諸活動の指導方法の基礎を学習 し、今後の教育活動の充実に役立てる」ことを目的としてお り、研修には、今年度採用された48名の先生(小・中・高・養護 学校)が参加しました。当日は、当ふれあいセンターと根釧 西部森林管理署から流域管理調整官、標茶及び真竜の各森林 官が協力して、体験プログラムを実施しました。



⑦ 8月5日(日)釧路市こども遊学館 夏休みイベント

釧路市こども遊学館で「親子木工教室」が開催され、当ふれあいセンターからは、北海道の郷土樹種であるトドマツの板を土台にした「ドアプレート作り」を実施しました。

当日は、小学生とその親19組が参加し、初めて使 うノコギリに苦労しながら、松毬、木の輪切り、小枝等の「森林からの贈 り物」を使い、ドアプレートに飾付けを行いました。開始から約3時間、 作業終了時間には参加した親子全組が完成させ、自然素材で作りあげた大 切なドアプレートを笑顔で持ち帰りました。





⑧ 8月21日(火)標茶町立中茶安別小中学校で学校林活動を支援



夏の学校林活動「るんるんフォレスト」が行われ、当ふれあいセンター職員と根釧西部森林管理署から、標茶首席森林官と真竜森林官が講師として参加しました。当日は、自動撮影カメラで撮影した写真などを使い、森林に生息する動物の擬態や保護色の学習を行うとともに、ネイチャーゲーム、樹木のタネの学習とシードトラップの設置を行いました。

⑨ 10月16日(火)標茶町立久著呂中央小中学校で森林教室を開催 小学生7人が参加して、学校周辺に植えられている樹木のタネに ついて学習しました。当日は、ふれあいセンター職員が講師として 参加し、ドングリは、リスやネズミなどの小動物の食料として巣の 近くまで運ばれて、土に埋められ芽が出ることやイタヤカエデやカ ラコギカエデのタネのように、翼があり風の力で遠くまで飛ばされ



⑩ 10月25日(木)標茶町立中茶安別小中学校で学校林活動を支援

て、芽を出すなど色々なタネがあることを学びました。

秋の学校林活動「るんるんフォレスト」が行われ、当ふれあいセンター職員と根釧西部森林管理署から標茶首席森林官が、講師として参加しました。今年度最後の学校林活動は、小学生班、中学生班に分かれ、実のなる木の冬囲いや巣箱の清掃を行いました。

最後に、夏の学校林活動で設置した、シードトラップに落ちたドングリを集め、マルチキャビティコンテナに直播きを行い、芽が出る様子や木が生長する過程を観察し、育ててもらうこととしています。なお、生長したミズナラの苗木は、雷別の自然再生事業や学校林などに植樹することとしています。



① 10月30日(火)弟子屈町立美留和小学校で森林教室を開催 小学生6名が参加して森林教室を行いました。

当日は、当ふれあいセンター職員と根釧西部森林管理署から、弟子屈首席森林官が講師として参加し、校庭周辺に植えられている樹木に、色々な野鳥が姿を現すことから、野鳥を観察するため、児童一人一人が巣箱作りを行いました。



【NPO等・その他の取組み】

- ① 9月2日(日)京都大学見学実習を支援
- ② 9月10日(月)京都大学見学実習を支援





京都大学農学研究科 森林·林業政策学等の教授及び学生が、国有林における湿原の保全管理の実態と周辺の森林資源管理の状況を見学するため訪れました。

③ 9月11日(火)釧路美容協会森林浴ツアーを支援

パイロットフォレストで、釧路美容協会が企画 し、根釧西部森林管理署と当ふれあいセンターが 連携して、森林浴や飾り炭作り等が実施しました。

時折、小雨が降る中で行われましたが、参加者からは、望楼から見られる雄大な森林の風景に感動の声が聞かれました。





④ 10月14日(日)女性限定森林ふれあい体験ツアー

パイロットフォレスト他で、釧路市及びその近郊から28名の参加により、巨木の見学や飾り炭の作成、森林散策等が行われました。当日は、ミズナラの巨木の見学を始めとして、松毬を使った飾り炭の作成、森林散策、日本に一台しかない高性能林業機械の見学を行い、最後には、釧路短期大学准教授である岡本氏と北泉



開発(株)の栄養士で調理師である仲野氏を招き「エゾシカを食べよう!」と題した講演とエゾシカ肉の調理実演と試食会が行われ、1日の行程が終了しました。

⑤ 10月20日(土) 道民森林づくりネットワークの集い

森づくりネットワークの強化・拡大と道民の森林づくり活動への参加を促進するため、道民の自発的な森林づくり活動の中心となる森林ボランティア団体・企業などが一会場に集い、森林づくりに関する様々な情報発信や意見交換などを行うことにより、道民と交流を図ることを目的として開催されており、当ふれあいセンターではパネル展示を行いました。









▽ 各展示ブースの様子

▽ 当センター展示プースの様子

⑥ 11月1~2日 ふれあいセンター等事業検討会

北海道森林管理局管内のふれあいセンター等が、取組んでいる事業の情報交換とその課題を検討し、今後に活用することを目的として開催されました。1日目は野幌国有林を見学し、2日目は各ふれあいセンター等からの情報提供と併せて、課題の検討が行われました。

⑦ 11月3日(土)サイエンス屋台村

釧路市こども遊学館で、科学教育者などが実験を通じて、児童・生徒に科学のおもしろさを知ってもらうことを目的として、北海道教育大学釧路校等の教育機関の他、行政機関等の31団体が演示実験や体験教室を行いました。当ふれあいセンターでは、アクリル封入された稚樹・葉・種子や木片などを、デジタル顕微鏡で拡大して観察を行う生物分野の体験ブースとして出展し



ました。参加した子ども達は、木片の木目やドングリの殻斗(ぼうし)、アクリルの中に入った 紅葉などを拡大して見るたびに、驚きの声を上げながら夢中で観察をしていました。

⑧ 11月10~11日 2012「木育·森づくりパネル展」

このパネル展は、釧路地域の森づくりや緑化活動等を知ってもらうことを目的として、くしろ森林と緑の会が開催したもので、当ふれあいセンターでは、根釧西部森林管理署と連携し、鳥の巣箱作りを体験してもらいました。



⑨ 12月8日(土)国有林におけるNPO団体等活動報告会 発表要旨を1~3頁に掲載していますので、そちらをご覧ください。

⑩ 12月15日(土)白糠町ふるさと未来塾交流学習会

この交流学習会は、地域の高齢者と子ども達との交流を深めてもらうことを目的として、白糠町教育委員会が開催したもので、当センターでは、鳥の巣箱作りを体験してもらいました。また、釧路総合振興局や森林室等の指導により、松毬のクリスマスツリー作りやmy箸作り、木の葉のしおり作りなどが行われ、木工工作による世代間の多様な交流が図られました。



① 1月24~25日 北の国・森林づくり技術交流発表会

北海道立道民活動センター(かでる2·7)で、北海道森林管理局管内のふれあいセンターを始めとして、森林管理署、振興局、高校、林業関係研究機関等が参加し、森林·林業に関する発表会が開催されました。当ふれあいセンターからは「新たな植樹への取組み~ボランティアとともに~」と題して、雷別地区自然再生



事業地で、雷別ドングリ倶楽部と取組んだ、パッチ状の地拵(刈払い)と植樹を一貫して行った 課題を発表しました。審査員からは、興味深い取組みとの評価をいただきました。

⑩ 2月16日~ 釧路森林資源活用円卓会議パネル展(山花温泉リフレ展示コーナー)

「お庭で苗木育成」~育苗ボランティア募集のお知らせ~

当ふれあいセンターでは、雷別地区国有林における森林再生活動で植樹する広葉樹の苗木について、釧路市及びその近郊にお住まいで、自宅の庭で3年程度育てていただける、育苗ボランティアを募集しています。詳細は、釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターまで、お問合せ下さい。



▽ ハルニレの苗木

活動区域及び所在地 根釧東部森林管理署心 標茶町 釧路市 釧路市 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター 十勝·釧路川 供してシリャ豊新 釧路川 城山(釧路湿原森林環境保全 この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図釧路(釧路)を使用したものです。

林 野 庁 北 海 道 森 林 管 理 局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

(旧釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター) 〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号 【IP】050-3160-5787【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

[E-Mail] h_kushiro_f@rinya.maff.go.jp

[URL] http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html